

—自家受粉による遺伝子の組み合わせを考える—

【1回目】

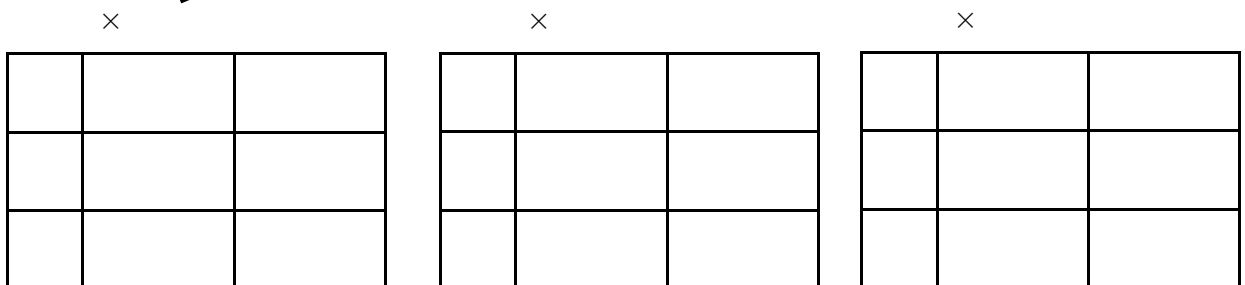
Aa × Aa

	A	a
A		
a		

1回目の自家受粉での遺伝子の組み合わせの比は

$$AA : Aa : aa = \boxed{} : \boxed{} : \boxed{}$$

【2回目】



AA : Aa : aa

$$= \boxed{} : \boxed{} : \boxed{}$$

AA : Aa : aa

$$= \boxed{} : \boxed{} : \boxed{}$$

AA : Aa : aa

$$= \boxed{} : \boxed{} : \boxed{}$$

よって、2回目の自家受粉での遺伝子の組み合わせの比は

$$AA : Aa : aa = \boxed{} : \boxed{} : \boxed{}$$

3回目の自家受粉での遺伝子の組み合わせの比を考えてみよう！

$$AA : Aa : aa = \boxed{} : \boxed{} : \boxed{}$$

	AA	Aa	aa
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			

問 1 自家受粉を 5 回繰り返したときの遺伝子の比率を考えよう。また、その理由を記入しましょう。

問 2 自家受粉を n 回繰り返したときの遺伝子の組み合わせの比率を考えよう。

問 3 問 2 を参考に自家受粉を 10 回繰り返したときの遺伝子の組み合わせの比率を求めてみよう。

問 4 理科の教科書・便覧を見て比例や反比例ではない規則性がありそうな内容を探して記入してみよう。

次の項目の該当する欄に○をつけましょう。

(1 つよくそう思う 2 そう思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない)

項目	観点別要素	1	2	3	4
自家受粉という条件のモデル実験の操作結果を適切にまとめることができた。	知				
遺伝子の組み合わせの結果から規則性を見出し、数式にすることができた。	思				
教科書などから規則性のあるものを積極的に探すことができた。	主				
今回の授業を受けたことで数学や理科をもっと学びたいと思いましたか。	主				
このような合科授業をまた受けたいと思いますか。	主				